

# 連合 不払い残業撲滅キャンペーンの取り組み

連合は労働時間管理適正化の取り組みを進め、全ての職場で労働基準法違反・労使協定違反の撲滅を目指しています。そこで11月を不払い残業撲滅月間と位置づけ、キャンペーンを実施します。特設電話での相談だけでなく、事実確認に基づき解決をはかります。改善に応じないなど悪質な場合には、労働基準監督署への告発等も視野に入れた運動を展開することとしています。

連合が2月に実施した「なんでも労働相談ダイヤル」でも、長時間労働や不払い残業に苦しむ相談が数多く寄せられました。

厚生労働省による2003年度の是正指導件数は、1184社、19万5千人にのぼっており、組織内外を問わず不払い残業を一掃するまでには至っていません。



キャンペーンの実施については、電車中吊り広告や夕刊紙に加え、ラジオCMを活用したPRを行います。

みなさんのご家族や友人で、不払い残業で悩んでいる方がいたら、是非この取り組みを紹介してください。連合・連合群馬は相談を受け問題の解決をはかります。

## 連合 不払い残業キャンペーン

期 間：2004年11月18日(木)～21日(日)  
(限定4日間)

時 間 帯：AM11時～PM8時

イヤヨ フバライ

特設電話：0120-184-280 (連合本部内)

※相談は無料です。公衆電話・携帯電話からでもかけられます。

なお、厚生労働省も11月を「賃金不払い残業解消キャンペーン月間」とし、11月23日(勤労感謝の日)に特設電話を設置し、各県の労働局が相談に応じます。

独や倦怠感を鋭い感覚で表現している詩のイメージがありますが、『純情小曲集』は、少年時代の純粋な心や望郷への想いが綴られています。私のお気に入りには、この『純情小曲集』・愛憐詩篇にある「旅上」で

ふらんすへ行きたしと思へども  
ふらんすはあまりにも遠し  
せめては新しき背広をきて  
気ままなる旅にいでてみる。……(一部抜粋)



といった、このひらがなで書かれた「ふらんす」にたいへん憧れたものです。また、なかなか手に入れることが出来ない自作の詩集『ソライロノハナ』見たさに、フランス料理のレストラン『朔詩舎』へ行ったりしました。昨年、久しぶりに『朔詩舎』へ行き、書籍部屋の空気に触れて昔の自分を思い出しました。あのころの私は、朔太郎をはじめ夏目漱石や太宰治などの展覧会があるとよく足を運んだものでした。

今では子どもの読み聞かせがきっかけで、絵本が中心となりました。中でも『100万回生きたねこ』(佐野洋子)は、大人も楽しめる絵本なので気に入っています。この本は、バレンタインデーに彼へ送っても喜ばれるのでは?というほど絶賛されています。おすすめなので、ぜひ一度読んでみてはいかがでしょうか。<イ姉>

# とっておきの 散歩道

No.11

スポーツの秋それとも芸術の秋?人にもいろいろありまして…。

## ～さて今回は、個人的な秋のお話～

わたしの家族はスポーツ一家で、父は甲子園へ出場し社会人野球を。母はバレーボール選手で実業団へ。妹はバレーボール&ソフトボール選手。弟はラグビーで花園出場、大学ラグビーを経て、現在は某高校のコーチをしています。…そんなスポーツ一家の長女の私は、中学へ入学後、一旦はバレーボール部へ所属したものの「性に合わない!」と思ったのが運の付きで、その後は合唱・美術・演劇・英語劇、そして軽音楽と文化部路線一直線。家系からは、すっかり路線をはずれてしまいました。

だから私は芸術の秋!とは言っても、今は仕事と家庭の両立で読書の時間や美術を鑑賞するといったゆとりの時間がありません。でも学生時代は、前橋の詩人・萩原朔太郎が大好きで、よく詩集を読んでいました。

朔太郎というと『月に吠える』や『青猫』などで近代人の孤

## 編集後記

実家の掃除をしていたら、高校時代に級友からもらった手紙と手作りのお守りが出てきた。短大第1志望校を落ちてしまった私にこんな言葉があった。「目標は幾つあってもいいんだよ。次にどうつなげていくかが大事!」。携帯メールが普及する中で、活字の温もりと言葉で10数年前の感動が甦った。「あぶるうち」もそんな気持ちを忘れずに…(鼎)

ただ、問題はこれからである。確かに現時点での整理はこれで良いとしても、この先もずっと今のままの形で良いとは言えず、状況の変化に対応した整理も必要である。組織は常に時代の流れに応じ、柔軟な対応ができるものでありたい。

それそれ思いは同じであっても、その取り組みの筋道には色んな形があるのも事実である。しかし、連合として力合わせをするためには、少なくとも地域活動の視点という共通の捉え方が必要であり、これが整理できた意味は大変大きかったと考えている。

この3年間に、連合群馬の活動も大きく変容を遂げてきた。取り組み自体変わったものがあるが、一番は連合群馬の構成組織が、同じ視点・考え方に立って物事に取り組み形が出来たことだ。

## せつねんのバリエーション(最終回)

いつまでも「じつじつ」ばかりではないとこのコラムも今回を以って終了することとした。